

2026年4月22日

電通ママラボ、家族を取り巻くトレンドや未来の兆しを凝縮した発想ツール「ミライクパレット」を開発

—母子の推し活・セパレート帰省など50の最新インサイトで明るい未来創造を支援—

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：松本 千里、以下「電通」）において、母親視点から企業のマーケティング活動を支援するチーム「電通ママラボ」は、家族を取り巻くトレンドや未来の兆しを凝縮した発想ツール「ミライクパレット」を開発しました。本ツールは、約30人の現役ママプランナーによる「リアルな生活実感」と、独自の「未来予測眼」を50音のカルタ形式に落とし込んだものです。変化の激しい現代において、新規ビジネスやアイデア創出のワークショップなどで活用することで、企業の事業開発や明るい未来創造を支援します。



ミライの育児をえがこう

近年、共働きや核家族の増加、SNSによる育児情報の氾濫、価値観の多様化により、「家族」というターゲットはかつてないほど捉えにくくなっています。電通ママラボは、2009年の設立以来、ママやパパ、子どもの本心と真摯（しんし）に向き合い、オリジナル調査やトレンドウォッチを通じて変化し続ける家族のカタチを捉え続けてきました。特に、時代の先を行く「先進的な家族のカタチ」をいち早くつかみ、具体的なプランニング視点に落とし込む手法を強みとしています。「ママが笑えば、日本も笑う。ママが笑えば、世界も笑う。」をモットーに、これまで電通ママラボが蓄積してきた膨大なインサイトを汎用的なツールにして開放することで、「家族の明るい未来」を一步先の視点から描けるようにしました。

「ミライクパレット」は、「未来」と「育児」を掛け合わせ、ママ・パパ・子ども・家族の悩みを可視化することで、企業や社会の課題解決のヒントを見いだすツールになっています。「母子の推し活」「セパレート帰省」「子育ては情報戦」など、電通のプランナーの実感や独自の観察眼、未来予測眼から、アイデアを発想して制作したものです。ママをはじめとした家族にまつわる「あるある」や「悩み」「不安」「共感」を詰め込んだキット

で、計 50 枚のカード集と、各カードにその背景にある定量・定性データやインサイトを記載した解説シートが付属しています。

〈ミライクパレット〉

 <p>ぬ</p>	<p>ぬ</p> <p>沼っちまった 私たちが 家族で全力 押し活生活</p> <p>子ども特有の好きなもの。子どもだけのものと思いきや、親が子どもの好きに付き合っている間に、親までハマることも。</p>
 <p>ね</p>	<p>ね</p> <p>ねえ何歳からなら いいの離乳食や おやつ解禁時期</p> <p>離乳食やおやつの進め方、解禁時期に悩むママ。SNS などの情報もあふれる中で不安を抱えてしまうママも。</p>
 <p>わ</p>	<p>わ</p> <p>分かち合いたい 育児の 辛さも喜びも</p> <p>令和の子育ては夫婦でのチーム戦 ママとパパの意識ギャップを埋めることが課題。</p>

企業の新規ビジネスやアイデア創出のワークショップのほか、ファミリー向け商品・サービスのコミュニケーション開発、企業の人事施策としての「仕事と育児の両立」といったダイバーシティ推進研修、大学のキャリアデザインや社会学講義の教材としても活用します。電通ママラボは、妊産婦から出産、子どもの成長に伴って変化する家族の未来のあり方を考えるきっかけづくりとなる「ミライクパレット」を単体だけでなく、クライアントのニーズに合わせて、勉強会やファシリテーションを行ったり、ツールをカスタマイズしたり、課題解決の統合プランニングに活用したりするなど、さまざまなカタチで提供していきます。

当社は今後も、リアルなインサイトと切り口でクライアントのビジネスや社会の課題に向き合い、その解決に伴走することで、企業の事業成長やより良い社会づくりに貢献していきます。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部
河南、内田、竹村

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 電通ママラボ
松原、齋藤、田井
Email : koho@dentsu.co.jp